



廊下から見通せるオープンな病棟のリハビリテーションゾーン。スタッフルームからも目が行き届く。



「シティホテルの1室」をコンセプトにデザインされ、多機能なアメニティを備えたAタイプ個室。窓からは立山連峰が一望できる。



病院と隣接するクリニックとの間の中庭。患者や面会者の憩いの場としてよく利用されている。



自然光が降り注ぎ開放感あふれるクリニックのリハビリテーションフロア。壁面には子どもたちが描いた絵がデザインされている。

病院の診察窓口の機能も併せ持つという、日本ではあまり例のない診療スタイルですが、地域の方には認知されつつあるようで、外来患者数は、移転前に比べて2割ほど増えました。病院の手術数も順調に増えています。

機能の充実するための環境デザインです。もともと整形外科は治せる病態が多い領域です。治療が済めば大半の方が自宅へ帰ります。入院患者さんに少しでも早く自宅に帰っていただくため、入院期間中もアクティビティを高められるように、病院の環境を「デザイン」していきました。

例えば、病棟のリハビリテーションゾーンは、低い間仕切りがあるだけで、廊下から全部見通せます。廊下の向い側にあるスタッフルームもローカウンターだけで仕切られているので、ドクターや看護師はローカウンターで電子カルテに

入力しているときにも患者さんの状態を確認できます。

当初は、リハビリテーションゾーンがあまりにオープンだと患者さんからクレームが出るかもしれないと心配していました。しかし、実際に運用を始めてみると、患者さんからも「ほかの人が頑張っている様子が見えると自分も頑張れる」と好評です。クリニックのリハビリテーションフロアはさらに広々と明るくオープンです。新鋭のトレーニングマシンも導入して、スポーツジムでトレーニングする感覚でリハビリテーションに取り組めるようにしました。

地域に貢献するために 変わらぬ診療理念

新築移転によって、設備や機能は一新しました。しかし、「信頼と奉仕」という長年掲げてきた理念はそのまま使われています。少し古くさい文言かもしれませんが、医療者としての本分は変わることなく持ち続けていたからです。私たち五省会は、皆様の財産となるように地域に貢献したいと考えています。地域の方がいろいろな意味で元気になっていただけるように、日々取り組んでいます。

DATA ● 特定医療法人財団五省会 西能病院
〒930-0866 富山県富山市高田70番地
<http://www.sainouhp.or.jp/sainou/>



高度な整形外科専門医療で地域に貢献

西能病院・整形外科センター西能クリニック

【富山県富山市】



特定医療法人財団 五省会 理事長

さいのう あつし
西能 淳 さん

特定医療法人財団五省会西能病院は、1962年に北陸で初の整形外科診療所として創業しました。50周年を迎えた2012年4月に、現在地に新築移転。入院・手術治療を主体とする病院と、外来リハビリ・検査に特化したクリニックとに機能を分化し、整形外科専門医療機関としての診療機能を一段と強化しました。パワーアップした新病院について、五省会理事長の西能淳さんにお聞きしました。

整形外科専門クリニック「整形外科センター西能クリニック」を併設して、ここにマルチスライスCTやMRIをはじめとする検査機能と外来部門を集約しました。「病气やけがに休みはない」という初代理事長の信念から、西能病院では1988年以来「休日外来診療」を行ってきました。西能クリニックでもこれを引き継いでいます。一方、新しくなった西能病院には、脊椎、関節、リウマチ、スポーツ外傷など整形外科の各領域の専門医がそろい、人工関節置換術、関節鏡視下手術、膝前十字靭帯再建術をはじめ、年間1500例程の整形外科手術を行っています。

未来志向の診療スタイルと 環境デザインを実現

外来部門を独立させたことにより、病院は入院・手術に専念できるようになり、救急対応を含めて、いつでも余裕をもつて地域からの患者を受け入れられるようになりました。併設のクリニックが